



(仮称) 日高市旭ヶ丘松の台
土地区画整理事業について

加藤 大輔

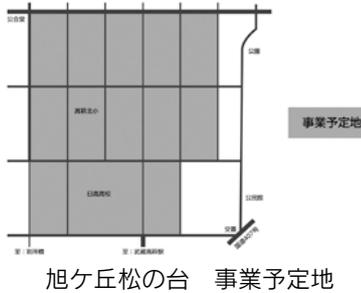
問 土地区画整理事業に係る目標スケジュール(案)では、都市計画決定、組合設立認可は令和5年9月の見込みとなっているが、工事着手までの事業予定地の管理は。

答 昨年は、草が繁茂する時期に地権者が道路に接する用地の除草を実施し、市でも通学路を中心に見通しの悪い箇所を無くすよう除草等の管理を行った。

また、地権者から自治会に対して除草計画書が提出され、自治会から地域の皆さんに報告を行ったことも確認している。来年度以降の除草計画等は、本年1月に地権者、地元自治会及び市の3者にて意見交換を行い、地権者からは、今年は用地全面での除草の回数を増やすと回答があった。道路部分については市で除草することになるが、地

元自治会からも除草等の道路管理について、協力も可能であるとの話をいただいたことから、市の事業等への活用を提案している。

工事着工までの間は、引き続き3者での話し合いの場を定期的に設け、事業予定地内の安全管理に努めていく。



旭ヶ丘松の台 事業予定地

問 予定されている校舎改修事業は、「日高市公共施設再編計画」に基づく長寿命化を前提としていくこともあり大規模なものとなることだが、具体的な改修内容は。

答 工事期間は、令和4年度に普通教室棟、令和5年度に特別教室棟及びプール棟の改修を予定しており、いずれも、主な工事は夏季休業期間中に集中的に実施する。

具体的な改修内容は、外壁の塗装や屋上の防水加工を全面改修することにも、給水管や電気設備を更新するなど、施設の長寿命化を図る。

また、校舎内については、天井、床及び壁を塗り替え、照明のLED化等を行う。トイレは、全面改修となり、天井や床などを張り替え、便器等の衛生器具は全て交換し、洋式化する。



就学援助制度(経済的困難者の援助)について

三木 伸也

問 就学支援制度の利用者の推移は。

答 令和2年度で小学生が299人で全体の10.5%、中学生が216人で全体の13.8%であった。人数は近年減少傾向だが割合は横ばいとなっている。

問 現在の制度の周知方法と、周知の時期の見直しは。

答 小・中学校入学時にパンフレットを配布している。加えて進級時など適切な時期にメールで周知したい。

学校給食費の公会計化について

問 学校給食費を市の予算に組み込む影響は。

答 保護者からの納金に関する変更は無い。未収金の有無に関係なく安定した食材調達が可能で、集金や未納者への納付指導は引き続き学校が実施する。

問 公会計化に向けたス

ケジュールは。

答 学校から市に集約化する体制の整備、システムの導入、管理・徴収人員の配置、予算確保等を行う予定である。

問 予定収納チャネルは。

答 金融機関、児童手当からの天引き、カード決済、コンビニ納付、インターネット支払いを検討している。

問 公会計化後の未納者への対応は。

答 地方自治法上の債権となるため期限を指定し督促を行う場合がある。

問 公会計化のメリット、デメリットは。

答 メリットは収納の効率化、保護者の利便性向上、教職員の業務負担の軽減などが挙げられ、デメリットは業務システムの導入費用及び管理コストが発生することや、家庭状況等に応じた徴収管

理が困難になり処理等が複雑化することが挙げられる。

学校給食費の無償化について

問 給食費の無償化への見解は。

答 学校給食法で食材費用は受益者負担となる。無償化には毎年約2億円の財源が必要となるため、生活困窮家庭へは福祉制度や就学援助制度などで対応する。



みんなでおいしい給食を!

高秋北中学校の環境整備について